

授業科目	観光産業論				単位	2		
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO11411J	
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP4-1			
担当教員	劉 明							
授業概要	「観光立国」と2020年の東京オリンピックの影響で、観光産業界に多くのインバウンド対応型の観光人材が求められている。本講義ではこのような状況を背景に、観光産業とはいかなる産業なのか、観光産業の範囲・特徴及び各産業の実情について学ぶ。それと同時に観光産業への就職を希望する学生に参考になる内容に心掛ける。また、授業の内容と関係あるビデオの活用も図る。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 観光産業の定義を理解できる。 観光産業の範囲・特徴及び各産業の実情を理解できる。 各産業が求めているインバウンド対応型の観光人材について、理解できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	0	30	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			30		10		40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)			40		20		60	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
観光が社会に果たす役割の重要性を理解し、将来この分野で活躍することを目指す。				観光が社会に及ぼす影響を理解し、わが国が観光立国を目指す理由を理解できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意を説			講義		該当部分の復習		30

	明する。			
2	観光産業(1) 観光産業の定義、観光産業の立地と種類	講義	該当部分の復習	60
3	観光産業(2) 観光産業の特徴	講義	該当部分の復習	60
4	旅行業(1) 旅行業の働きと役割	講義	該当部分の復習	60
5	旅行業(2) 旅行業の歴史	講義	該当部分の復習	60
6	旅行業(3) 旅行業の商品と形態	講義	該当部分の復習	60
7	宿泊業(1) 宿泊業の歴史と発展	講義	該当部分の復習	60
8	宿泊業(2) 宿泊施設の定義と区分	講義	該当部分の復習	60
9	宿泊業(3) ホテルの機能と業務	講義	該当部分の復習	60
10	宿泊業(4) 旅館のサービスと業務 (外部講師による講義〈予定〉)	講義	該当部分の復習	60
11	交通運輸業(1) 観光と交通の関わり	講義	該当部分の復習	60
12	交通運輸業(2) 観光交通ビジネスの特性	講義	該当部分の復習	60
13	様々な観光ビジネス テーマパークについて	講義	該当部分の復習	60
14	他産業と観光 農林漁業と観光、製造業と観光、飲食と観光	講義	該当部分の復習	60
15	「観光産業論」のまとめ 本講義「観光産業論」で扱った内容を振り返り、総括する。	講義	総復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「観光学入門」を履修したこと。生活の中の観光に関わるモノ、コトに興味を持つこと。			
テキスト	資料を配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『観光学基礎』(株)JTB能力開発 『観光産業論』編著者林清(株)原書房			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 旅をすること。 2. 観光書籍・雑誌・新聞をよく読むこと。 3. 少しでも長く勉強を続けること。 4. よく質問すること。 			
達成度評価に関するコメント	<ol style="list-style-type: none"> 1. 観光産業の定義を理解できる。 2. 観光産業の範囲・特徴及び各産業の実情を理解できる。 3. 各産業が求めているインバウンド対応型の観光人材について、理解できる。 			